

以下の記載は、表題の診療ガイドラインから漢方製剤に関する記述を抽出したものです。診療において漢方製剤を使用される場合には、必ず、ガイドライン全体をお読みになり、その位置づけを正しく理解された上で行ってください。

ガイドラインのバージョンは最新のもののみを掲載しています。改定がなされていないガイドラインは、そのまま掲載しています。このガイドラインとその中の漢方の記載を、診療の参考にすべきかどうかの判断は、使用者の責任で行ってください。

痒疹診療ガイドライン 2020

日本皮膚科学会痒疹・皮膚瘙癢症診療ガイドライン作成委員会
日本皮膚科学会雑誌 第 130 巻 第 7 号、2020 年 6 月 20 日発行

Strength of Evidence

- I: システマティック・レビュー/メタアナリシス
- II: 1 つ以上のランダム化比較試験による
- III: 非ランダム化比較試験による
- IV: 分析疫学的研究 (コホート研究や症例対照研究による)
- V: 記述研究 (症例報告や症例集積研究による)
- VI: 専門委員会や専門家個人の意見

Strength of Recommendation

- A: 行うよう強く勧められる (少なくとも 1 つの有効性を示すレベル I もしくは良質のレベル II のエビデンスがあること)
- B: 行うよう勧められる (少なくとも 1 つ以上の有効性を示す質の劣るレベル II か良質のレベル III あるいは非常に良質の IV のエビデンスがあること)
- C1: 行うことを考慮してもよいが、十分な根拠がない (質の劣る III~IV, 良質な複数の V, あるいは委員会が認める VI)
- C2: 根拠がないので勧められない (有効のエビデンスがない、あるいは無効であるエビデンスがある)
- D: 行わないよう勧められる (無効あるいは有害であることを示す良質のエビデンスがある)

■1 大柴胡湯加減

疾患:

結節性痒疹

CPG 中の Strength of Evidence:

V: 記述研究 (症例報告や症例集積研究による)

CPG 中の Strength of Recommendation:

C1: 行うことを考慮してもよいが、十分な根拠がない (質の劣る III~IV, 良質な複数の V, あるいは委員会が認める VI)

引用など:

田原英一, 新谷卓弘, 中尾紀久世, ほか. 大柴胡湯加減が奏効した結節性痒疹の 1 例. *漢方の臨床* 2007; 54: 1107-10.

■2 黄連解毒湯

疾患:

亜急性単純性痒疹

CPG 中の Strength of Evidence:

V: 記述研究 (症例報告や症例集積研究による)

CPG 中の Strength of Recommendation:

C1: 行うことを考慮してもよいが、十分な根拠がない (質の劣る III~IV, 良質な複数の V, あるいは委員会が認める VI)

引用など:

手塚匡哉. 亜急性単純性痒疹に対する四物湯と黄連解毒湯の使用経験. *新薬と臨床* 2005; 54: 749-53.

■3 黄連解毒湯

疾患:

多形慢性痒疹

CPG 中の Strength of Evidence:

V: 記述研究 (症例報告や症例集積研究による)

CPG 中の Strength of Recommendation:

C1: 行うことを考慮してもよいが、十分な根拠がない (質の劣る III~IV, 良質な複数の V, あるいは委員会が認める VI)

引用など:

- 1) 手塚匡哉. Bednar's アフタを合併した多形慢性痒疹の女性例に対する補中益気湯と黄連解毒湯の使用経験. *漢方研究* 2004; 388: 15-7.
- 2) 水島宣昭. 多形慢性痒疹に奏効した黄連解毒湯. *老化と疾患* 1995; 8: 1649-51.

■4 四物湯

疾患:

亜急性単純性痒疹

CPG 中の Strength of Evidence:

V: 記述研究 (症例報告や症例集積研究による)

CPG 中の Strength of Recommendation:

C1: 行うことを考慮してもよいが、十分な根拠がない (質の劣る III~IV, 良質な複数の V, あるいは委員会が認める VI)

引用など:

手塚匡哉. 亜急性単純性痒疹に対する四物湯と黄連解毒湯の使用経験. *新薬と臨床* 2005; 54: 749-53.

■5 補中益気湯

疾患:

多形慢性痒疹

CPG 中の Strength of Evidence:

V: 記述研究 (症例報告や症例集積研究による)

CPG 中の Strength of Recommendation:

C1: 行うことを考慮してもよいが、十分な根拠がない (質の劣る III~IV, 良質な複数の V, あるいは委員会が認める VI)

引用など:

手塚匡哉. Bednar`s アフタを合併した多形慢性痒疹の女性例に対する補中益気湯と黄連解毒湯の使用経験. *漢方研究* 2004; 388: 15-7.

■6 温清飲

疾患:

痒疹

CPG 中の Strength of Evidence:

V: 記述研究 (症例報告や症例集積研究による)

CPG 中の Strength of Recommendation:

C1: 行うことを考慮してもよいが、十分な根拠がない (質の劣る III~IV, 良質な複数の V, あるいは委員会が認める VI)

引用など:

手塚匡哉. 痒疹に対する温清飲の使用経験. *漢方研究* 2003; 383: 14-6.

■7 柴苓湯

疾患:

難治性全身性痒疹

CPG 中の Strength of Evidence:

V: 記述研究 (症例報告や症例集積研究による)

CPG 中の Strength of Recommendation:

C1: 行うことを考慮してもよいが、十分な根拠がない (質の劣る III~IV, 良質な複数の V, あるいは委員会が認める VI)

引用など:

田中哲二. 月経時に増悪する難治性全身性痒疹に柴苓湯が著効した 1 例. *Progress in Medicine* 2000; 20: 2275-7.

■8 越婢加朮湯

疾患:

汎発性皮膚そう痒症

CPG 中の Strength of Evidence:

V: 記述研究 (症例報告や症例集積研究による)

CPG 中の Strength of Recommendation:

C1: 行うことを考慮してもよいが、十分な根拠がない (質の劣る III~IV, 良質な複数の V, あるいは委員会が認める VI)

引用など:

三田哲郎, 安江厚子. 汎発性皮膚そう痒症に対する越婢加朮湯の使用経験. *漢方診療* 1987; 6: 41-4.

■9 桂枝茯苓丸 + 桂枝加朮附湯

疾患:

結節性痒疹

CPG 中の Strength of Evidence:

V: 記述研究 (症例報告や症例集積研究による)

CPG 中の Strength of Recommendation:

C1: 行うことを考慮してもよいが、十分な根拠がない (質の劣る III~IV, 良質な複数の V, あるいは委員会が認める VI)

引用など:

吉村和弘, 橋本隆. 桂枝茯苓丸と桂枝加朮附湯が有効であった結節性痒疹の 2 例. 漢方医学 2013; 37: 149-152.

<以上 1~9 の記載として>

有効性に関する記載ないしその要約:

『CQ16: 漢方薬は痒疹に有効か?』に対して、下記の記載がある。

『推奨度: C1

推奨文: 本症が極めて難治であることを考えれば使用を考慮してもよいと思われる。

解説: 痒疹における漢方薬の治療効果に関する報告はエビデンスレベルとしては V 以下であり、殆どが症例報告ないし症例集積研究である。大柴胡湯加減、黄連解毒湯、四物湯、補中益気湯、温清飲、柴苓湯、越婢加朮湯、桂枝茯苓丸と桂枝加朮附湯などによる治療が有効であった例が報告されている。』

備考:

『7. 痒疹治療アルゴリズム』に、『漢方薬 C1』の記載がある。

『痒疹に用いられる主な漢方薬』の表中に、『温清飲、越婢加朮湯、黄連解毒湯、桂枝茯苓丸と桂枝加朮附湯、柴苓湯、四物湯、大柴胡湯加減、補中益気湯 (ただし痒疹の保険適用は無い)』との記載がある。